

2019年10月16日

輸送動向について（2019年9月分）

1. 輸送概況

コンテナは、前年に「平成30年7月豪雨」「台風21号接近」「北海道胆振東部地震」等の災害が相次いで発生した影響により、すべての品目で前年を上回った。中でも積合せ貨物は各地で鉄道へのシフトが進んでいることも併せて好調に推移したほか、自動車部品が東海・九州地区間での新規輸送開始や増税前の駆け込み需要により各社販売好調となり、大幅な荷量増となった。また、エコ関連物資は関東地区内の建設発生土輸送が順調に推移した。一方、各地で設備不具合が相次いだ紙・パルプ、清涼飲料水が低調な食料工業品、北海道産生野菜が落ち込む農産品・青果物等は微増にとどまった。その結果、コンテナ全体では前年比135.8%となった。

車扱は、石油が増税前およびサウジアラビア石油関連施設攻撃後の原油価格高騰による駆け込み需要が重なり、好調な荷動きとなった。その結果、車扱全体では前年比109.5%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比127.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,833	1,351	135.8%	10,419	9,269	112.4%
車 扱	734	670	109.5%	4,027	3,975	101.3%
合 計	2,568	2,021	127.1%	14,447	13,244	109.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	198	153	45	129.3%
	化学工業品	159	120	39	133.1%
	化学薬品	115	81	34	141.5%
	食料工業品	291	229	62	126.7%
	紙・パルプ	235	199	36	117.9%
	他工業品	130	93	37	139.1%
	積合せ貨物	235	160	75	146.3%
	自動車部品	81	34	47	235.3%
	家電・情報機器	36	25	11	146.7%
	エコ関連物資	45	29	16	158.6%
	その他	310	227	83	136.4%
	コンテナ計	1,834	1,351	483	135.8%
車 扱	石油	478	430	48	111.2%
	セメント・石灰石	132	125	7	105.8%
	車 両	73	66	7	110.9%
	その他	51	49	2	103.0%
	車 扱 計	734	670	64	109.5%
合 計		2,568	2,021	547	127.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)